

ICレコーダー
クイックスタートガイド



ICD-SX734/SX1000

4-447-267-01(2)
© 2013 Sony Corporation Printed in China



はじめに

本書はICレコーダーをはじめお使いになるときに必要な準備、基本的な録音、再生、消去の操作方法や、上手な録音方法などを説明しています。その他機能の説明や、詳しい操作方法は、別冊の取扱説明書またはヘルプガイドをご覧ください。

また、パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページ(<http://www.sony.jp/support/ic-recorder/>)で、Q&A(よくある問い合わせ情報)、動画でサポート(上手な録音方法(シーン別録音のコツ)ほか)などを見ることができます。

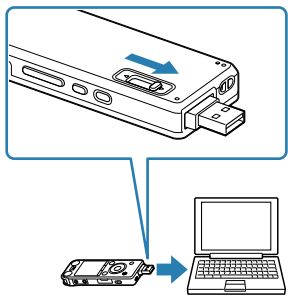
箱の中身を確認する

- 本体(1)
- ステレオヘッドホン(1)
- USB接続補助ケーブル(1)
お使いのパソコンにICレコーダーを直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。
- スタンド(1)*
- キャリングケース(1)(ICD-SX1000のみ)*
- キャリングポーチ(1)(ICD-SX734のみ)
- ウィンドスクリーン(1)(ICD-SX1000のみ)
- クイックスタートガイド 本書(1)
- 取扱説明書(1)
- 保証書
(取扱説明書の裏面に印刷されています。)
- * キャリングケースとスタンドは組み合わせた状態で付属しています。キャリングケースとしてはスタンドと組み合わせた状態でお使いください。スタンドとしてはキャリングケースからはずして、単体でお使いいただくことができます。

ヘルプガイドをインストールする

ICレコーダーの内蔵メモリからICレコーダーガイドをインストールすると、ヘルプガイドで詳細な操作方法や困ったときの対処方法をパソコンで調べることができます。

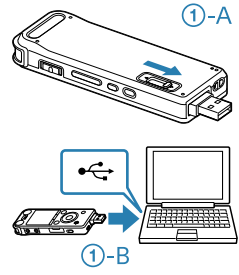
- ICレコーダーのUSB DIRECT (スライド式USB端子用)つまみをスライドし、起動しているパソコンのUSBポートに接続する。
ICレコーダーがパソコンのUSBポートに直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。



- 正しく認識されているかを確認する。
接続している間はICレコーダーの表示窓に「接続中」の表示が出ています。
- インストールする。
Windowsでは、「コンピュータ」または「マイコンピュータ」を開き、「IC RECORDER」→「FOR WINDOWS」→「[Help_Guide_Installer_for_Win] (または [Help_Guide_Installer_for_Win.exe])」をダブルクリックする。
Macでは、Finderを使って、デバイスの「IC RECORDER」を開き、「FOR MAC」→「[Help_Guide_Installer_for_Mac] (または、[Help_Guide_Installer_for_Macapp])」をクリックする。(v10.5.8以降)
- インストールしたあとに、パソコンのデスクトップの「[Help_Guide_icdsx3.jp.htm]」アイコンをダブルクリックする。
「ヘルプガイド」が表示されます。
なお、ヘルプガイドは、ヘルプガイドページ(<http://rd1.sony.net/help/icd/sx3/jp/>)からも見ることができます。

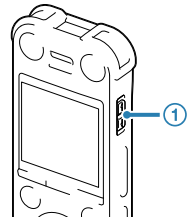
使ってみよう

1. 充電する



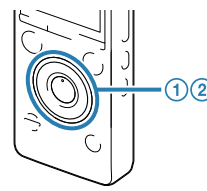
- ICレコーダーをパソコンにつなぐ。
裏面のUSB DIRECTつまみを矢印の方向へスライドして(①-A)、USB端子を起動しているパソコンにつなぎます(①-B)。
充電が始まります。充電が完了すると、電池マークが「」と表示されます。
- ICレコーダーをパソコンから取りはずす。
アクセスランプが消えていることを確認し、Windows 7、Windows 8の場合は「IC RECORDERの取り外し」を左クリックして、Macの場合はFinderのサイドバーの「IC RECORDER」の取り外しアイコンをクリックして安全に取りはずしてください。詳しい取りはずし方法は、取扱説明書の「充電する」をご覧ください。

2. 電源を入れる



- 画面が表示されるまで、電源・ホールドスイッチを「電源」の方向へスライドする。
電源が入ります。
 電源・ホールド
電源を切るには、「電源オフ」のアニメーションが表示されるまで、電源・ホールドスイッチを「電源」の方向へスライドします。
● 停止状態で操作しないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。(お買い上げ時は、10分になっています。)
● 最後に電源を切ってから4時間以内に再度電源を入れた場合は、すばやく起動します。

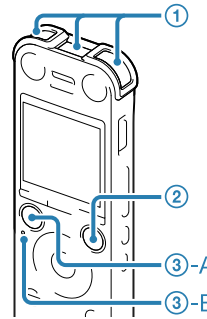
3. 時計を合わせる



お買い上げのあと時計が設定されていないときは、「時計を設定してください」のアニメーションが表示され、「時計を設定しますか?」の確認画面が表示されます。

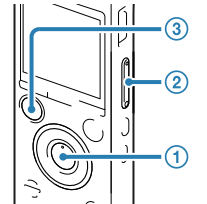
- ▲または▼を押して「はい」を選び、▶ (再生/決定) ボタンを押す。
時計設定画面が表示され、年表示が点滅します。
- ▲または▼を押して年の数字を選び、▶ (再生/決定) ボタンを押す。同じ操作を繰り返し、月、日、時の順に設定する。
分を選び、▶ (再生/決定) ボタンを押すと、時計が設定されます。
● 時計を設定しなかった場合、メニューを使って後からでも設定できます。詳しい操作方は、取扱説明書の「メニューを使って時計を合わせる」をご覧ください。

4. 録音する



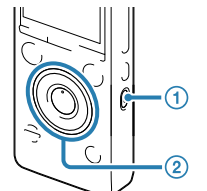
- 録音を始める前に、電源・ホールドスイッチの突起部が「●」マークに合うように、中央位置にスライドし、ホールドを解除してください。
- 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。
 - 録音/一時停止ボタンを押す。
録音が始まり、録音ランプ(②)が赤く点灯します。
 - 録音を止めるには、■停止ボタン(③-A)を押す。
アクセスランプ(③-B)がオレンジに点滅し、録音が停止します。
● 録音中に●録音/一時停止ボタンを押すと、録音が一時停止します。再度押すと、録音が再開します。

5. 再生する



- ▶ (再生/決定) ボタンを押す。
再生が始まります。
- 音量-/+ ボタンを押して、音量を調節する。
- 再生を止めるには、■停止ボタンを押す。

6. 消去する



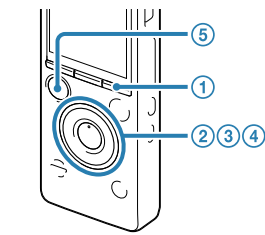
- ご注意
一度消去したファイルはもとに戻すことはできません。ご注意ください。
- 消去ボタンを押す。
「消去しますか?」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。
 - ▲または▼を押して、「実行」を選び▶ (再生/決定) ボタンを押す。
「消去中...」のアニメーションが表示され、ファイルが消去されます。

ICレコーダーの準備、基本的な録音、再生、消去の操作はこれで終了です。あなたも今日からICレコーダーのユーザーの仲間入りです。さらに、ICレコーダーを使いこなすために、便利な機能の一部をご紹介します。

こんなこともできます

メニューを使う

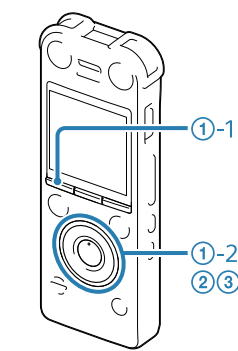
メニューを使って、録音、再生、編集、表示、本体の様々な設定を行うことができます。ここでは、1例として操作音の設定方法を説明します。その他の設定項目については、取扱説明書またはヘルプガイドをご覧ください。



- メニューボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。メニュー画面では様々な機能を設定することができます。
 - ◀を押した後、▲または▼を押して▶、▶、▶、▶、▶のいずれかを選び、▶ (再生/決定) ボタンを押して決定する。
操作音を変更したい場合は、を選びます。
 - ▲または▼を押して、項目を選び、▶ (再生/決定) ボタンを押して決定する。
たとえば「操作音」を選ぶと、下の設定画面が表示されます。
 - ▲または▼を押して設定を選び、▶ (再生/決定) ボタンを押して決定する。
 - メニューモードを終了するには、■停止ボタンを押す。
- 1つ前の画面に戻るには
メニュー操作中に◀を押します。

メモリー/タブ/フォルダ/ファイルを選ぶ

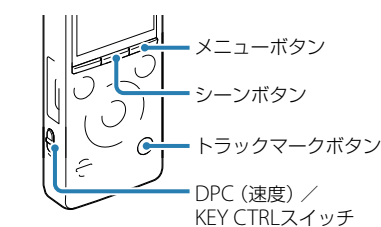
録音、再生、編集するファイル、フォルダ、タブ、メモリーを選択できます。



- タブ/メモリーを選ぶ。
1 停止中/再生中に (フォルダ) ボタンを押して、フォルダ選択画面を表示します。
- フォルダを選ぶ。
▲または▼を押してフォルダを選び、▶ (再生/決定) ボタンを押します。フォルダ内のファイル選択画面を表示するには、▲または▼を押してフォルダを選び、▶▶ボタンを押します。
- ファイルを選ぶ。
ファイル選択画面が表示されているときは、▲または▼を押してファイルを選び、▶ (再生/決定) ボタンを押します。停止画面が表示されているときは、◀◀または▶▶ボタンを押してファイルを切り換えることができます。

その他の便利な機能

詳しい操作方法は取扱説明書またはヘルプガイドをご覧ください。

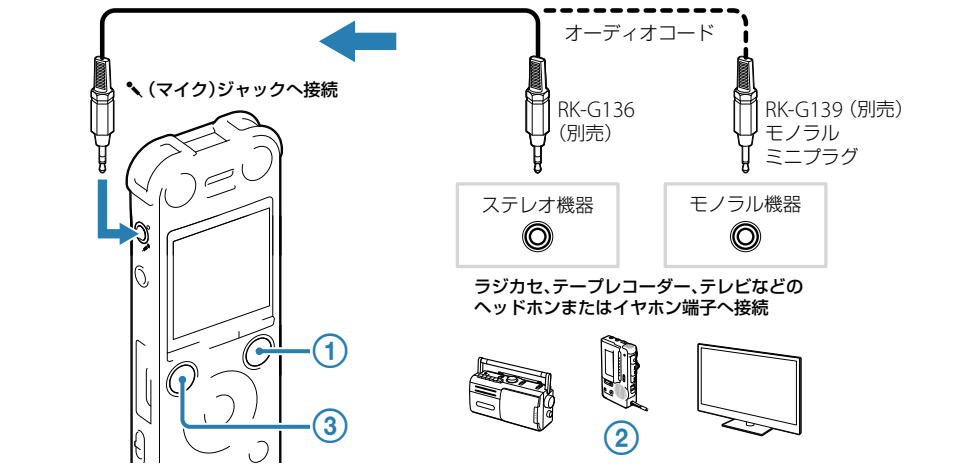


- トラックマーク
再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。
- デジタルピッチコントロール (DPC)
再生速度を0.25倍速から3.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。
- 書き起こし用再生
録音した1つのファイルを早送り/早戻ししながら聞きたい箇所を探したり、デジタルピッチコントロール(DPC)で速度調節しながら再生することができます。議事録等を書き起こすときに便利なモードです。
- シーンセレクト
さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイクの感度設定などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。おまかせボイスでは、会議時などの音声が必要な録音レベルになるように、自動で感度調節を行います。また、Myシーン1、Myシーン2では、お好みに合わせてシーンの設定を編集することができます。

ラジカセ、テープレコーダー、テレビなどからICレコーダーへ録音する

オーディオコードを使用して録音すると、周囲の音などの雑音を入れずに録音することができます。マイク端子にオーディオコードを接続すると、「外部入力設定」が表示されます。「Audio IN」を選びます。「シンクロ録音を機能を使って録音しますか?」と表示されますので、「はい」または「いいえ」を選びます。シンクロ録音について詳しくは、取扱説明書またはヘルプガイドをご覧ください。

- ICレコーダーの●録音/一時停止ボタンを押す。
- 接続先の▶ (再生/決定) ボタンを押す。
- 録音を停止するには、ICレコーダーの■停止ボタンを押す。また、接続先の停止ボタンを押して、再生を停止する。

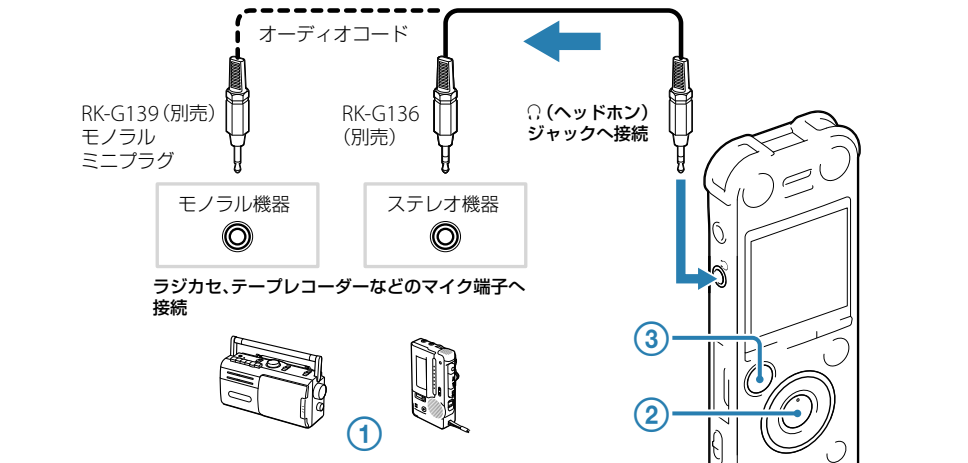


- ICレコーダー内に挿入したメモリーカードに直接録音する場合は、あらかじめ設定を変更してください。
- 入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子(ステレオミニジャック)を使ってICレコーダーと接続し、ICレコーダーの録音レベルガイドを確認しながら、他の機器の音量を調節してください。

ICレコーダーからラジカセ、テープレコーダーなどへ録音するには

オーディオコードを使用して録音すると、周囲の音などの雑音を入れずに録音することができます。

- 接続先の● (録音) ボタンを押す。
- ICレコーダーの▶ (再生/決定) ボタンを押す。
- 録音を停止するには、接続先の停止ボタンを押す。また、ICレコーダーの■停止ボタンを押して再生を停止する。



- 録音された音声の音量が適切でない場合(音が小さかったり、歪んだりした場合は)、ICレコーダーの音量を調節してください。

上手に録音、再生するために

ためし録りのススメ

部屋の大きさ、話をする人の声の大きさ、パソコンを近くで使用しているのかどうか…。録音環境は人によってさまざまです。望まれる「音質」も録音対象によって変わってきます。ためし録りは、大切な録音を失敗しないため、また、理想の音質に録音環境を整えるために大変有効なものです。

ノイズとして録音される可能性のある音について

こんな音や振動もノイズとして録音されてしまいます

ICレコーダーには、音声以外のさまざまな音が録音されてしまうことがあり、ノイズとして聞こえてしまいます。録音されるノイズには以下のようなものがあります。



エアコン、プロジェクター、パソコンなどの動作音、机の上に置いたものの振動、机の脚から伝わる足音などは、聞こえる音よりも大きく録音されてしまうことがあります。

録音されるノイズを軽減するには

- 録音中に本体に触れると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
- ノイズの原因となっている音から遠ざけるか、取りのぞいてください。
- 状況に応じた「録音モード」を選んでください。ノイズが気になる場合は、録音モードを高音質モードに設定することをおすすめします。
- 状況に応じた「感度設定」を選んでください。周囲の音がノイズとなって聞きづらい場合は、感度の設定を下げてみてください。

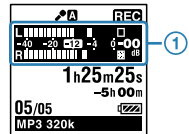
- 録音シーンに合わせて「シーン」を選ぶと録音モードや感度設定など、録音に必要な項目を一括でおすめの設定に切り換えることができます。
- 付属のスタンドを使うことで、机から伝わる振動音などのノイズを軽減できます。



上手に録音するには

録音レベルを調整する

録音中は、録音レベルガイド(①)が表示されます。



ピークメーターの-12dB付近を目安に、マイクの方向や音源からの距離を調節したり、マイクの感度を設定したり、シーンセレクトの設定を変更して、録音レベルが音源に合った適切な範囲になるように調節してください。感度設定がマニュアルのとき、録音レベルが大きすぎると、表示窓に **OVER** が表示され、ピークランプ(ICD-SX1000のみ)が点灯します。音がひずみますので、**OVER** とピークランプが消えるまで **◀▶** を押して録音レベルを下げてください。マニュアル録音以外の場合は音源からの距離を離すか、感度設定を下げてください。

録音フィルター機能を使う

LCF(Low Cut)フィルター機能を設定すると、ノイズを軽減した録音ができます。

- 停止/録音中にメニュー → **▶** タブ → 「LCF(Low Cut)」を選び、**▶** (再生/決定) ボタンを押す。



再生時にノイズを軽減して聞きやすくするには

ノイズカット機能を使う

再生時に、ノイズカット機能を有効に設定すると、プロジェクターや空調などの音声以外の周辺ノイズをカットします。全帯域のノイズを低減するため、人の声をクリアな音質で再生することができます。

- 停止/再生時に、メニュー → **▶** タブ → 「ノイズカット」を選び、**▶** (再生/決定) ボタンを押す。

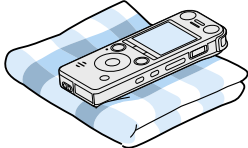
- ▲または▼を押して、「オート」、「強」または「弱」を選び、**▶** (再生/決定) ボタンを押す。



状況に応じた録音方法

会議録音

ハンカチなどの上にICレコーダーを乗せるか、付属のスタンドを使うことで、机から伝わる振動音などのノイズを軽減できます。



発表者に近い場所で録音してください。シーンを設定するときは、「おまかせボイス」または、「会議」を選びます。



インタビュー録音

マイクの向きをインタビュー相手に合わせて録音します。シーンを設定するときは、「おまかせボイス」または、「インタビュー」を選びます。



歌やカラオケの録音

内蔵マイク設定でステレオマイクに設定することでステレオ録音モードで臨場感のある録音ができます。シーンを設定するときは、「音楽」を選びます。



👁️ ヒント
大きな音で歪む場合は、遠ざけて録音してください。

メモ録・口述録音

録音するときは、マイク部に息がかからないように口のやや横に本体を近づけたり、付属のウィンドスクリーン(ICD-SX1000のみ)を使用しましょう。シーンを設定するときは、「おまかせボイス」または、「ボイスメモ」を選びます。



👁️ ご注意
ICレコーダーを手を持って録音するときは、ICレコーダーに触れたときのノイズ(タッチノイズ)が録音されないようご注意ください。

授業・講演会録音

マイクを音源の方向に向けて録音します。内蔵マイク設定でズームマイクに設定することで、録りたい音声を狙って録音することができます。シーンを設定するときは、「おまかせボイス」または、「講演」を選びます。



電話録音

電話録音用マイクECM-TL3 (別売)を使って自分と相手の声を録音できます。シーンを設定するときは、「インタビュー」を選びます。



音楽録音

ICレコーダーをピアノの上のせて録音すると、ピアノを弾くときの振動も一緒に録音されてしまいます。ICレコーダーをピアノから1~2m離して録音してください。シーンを設定するときは、「音楽」を選びます。



👁️ ヒント
大きな音で歪む場合は、楽器から遠ざけて録音してください。

パソコンにつないで使う

パソコン用ソフトウェア「Sound Organizer」を使う

録音したデータを簡単に管理・編集できるソフトウェア「Sound Organizer」。お好みの音楽CDを作成したり、会議の議事録作成、語学学習、音楽再生などをサポートします。パソコンならではの楽しみが広がります。

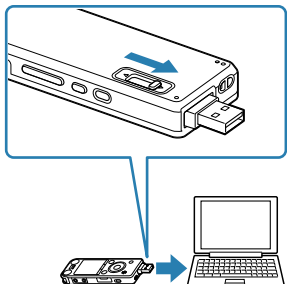


Sound Organizerをインストールする

Sound Organizerを使用するために必要なシステム構成は、取扱説明書の「Sound Organizerを使う」を確認してください。

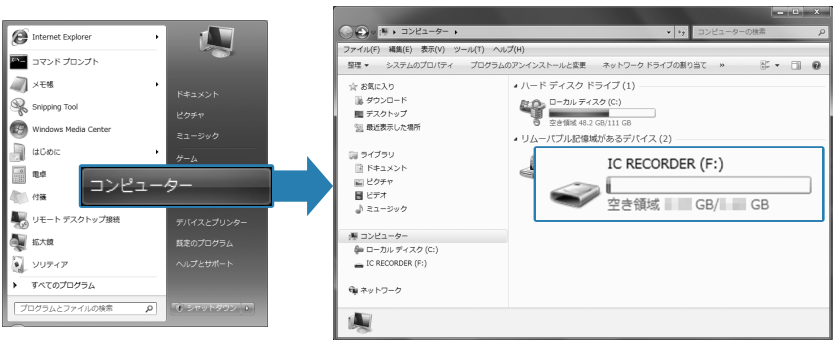
👁️ ご注意
Sound Organizerをインストールするときは、Administrator (管理者)権限でログオンしてください。

- ICレコーダーのUSB DIRECTつまみをスライドし、起動しているパソコンのUSBポートに接続する。ICレコーダーがパソコンのUSBポートに直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。



- 正しく認識されているかを確認する。
接続している間はICレコーダーの表示窓に「接続中」の表示が出ています。

- Windowsの[スタート]メニューから、[コンピューター] (または[マイコンピュータ])をクリックし、[IC RECORDER] → [FOR WINDOWS]をダブルクリックする。



画面はお使いのWindowsのバージョンによって異なります。本書では、Windows 7を例にして説明しています。

- [SoundOrganizerInstaller_V140] (または [SoundOrganizerInstaller_V140.exe])をダブルクリックする。
画面の指示に従って操作してください。

- 使用許諾契約の内容を確認したら、「使用許諾契約に同意します」を選び、[次へ]をクリックする。

- 「インストールの種類」の画面が表示されたら、お好みで「標準」、「カスタム」のいずれかを選び、[次へ]をクリックする。
「カスタム」を選んだ場合は、画面の指示に従い、インストール設定を行ってください。

- 「インストールの開始」の画面が表示されたら、[インストール]をクリックする。
インストールが始まります。

- 「Sound Organizerは正常にインストールされました」の画面が表示されたら、「Sound Organizerを今すぐ起動する」をチェックし、[終了]をクリックする。

👁️ Sound Organizerのインストール後、パソコンの再起動が必要になる場合があります。

Sound Organizerの詳しい操作方法については、Sound Organizerの[ヘルプ]または[かんたん操作ガイド]をごらんください。



「Sound Organizer」は、ICレコーダー サポート・お問い合わせページからもダウンロードできます。

<http://www.sony.jp/support/ic-recorder/>

音楽CDを作る

- 未使用のCD-R/CD-RWを、パソコンのCDドライブに挿入してください。
- あらかじめICレコーダーで録音したファイルを「Sound Organizer」に取り込んでから、音楽CDの作成を始めてください。



- サイドバーにある **ディスクを作成する** をクリックし、画面右側にある **音楽CD 音楽CD制作開始** をクリックする。

- サイドバーの **マイライブラリー** をクリックし、CDに書き込みたい楽曲が含まれるファイルを選択する。

- 画面中央の **▶** をクリックする。

- CDへ書き込みたい楽曲の確認をする。

- 作成開始** をクリックする。
音楽CDの作成が始まります。

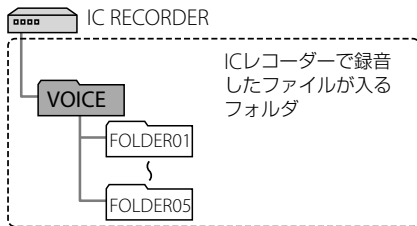
👁️ Sound Organizerの操作方法については、[ヘルプ]メニューを選択し、Sound Organizerのヘルプを表示して調べることができます。

ファイルをパソコンにコピーして保存する

Sound Organizerを使わずにICレコーダーとパソコンを接続して、ファイルのやり取りが行えます。

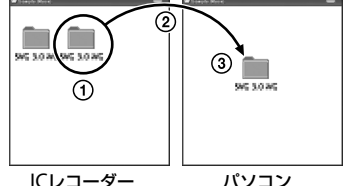
- ICレコーダーのUSB DIRECTつまみをスライドし、起動しているパソコンのUSBポートに接続する。

- 正しく認識されているかを確認する。
Windowsでは、「コンピュータ」(または「マイコンピュータ」)を開き、「IC RECORDER」が新しく認識されているかを確認してください。
Macでは、Finderに「IC RECORDER」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。



- 保存したいファイルやフォルダをパソコンにコピーする。
「IC RECORDER」に入っているファイルやフォルダをパソコンのローカルディスクにドラッグアンドドロップします。

👁️ ファイルやフォルダをコピーする (ドラッグアンドドロップ)



- コピーしたいフォルダをクリックしたまま、
- 保存先まで移動(ドラッグ)して、
- はなす(ドロップ)

- ICレコーダーをパソコンから取りはずす。
ICレコーダーのアクセランプが消えていることを確認し、パソコンで下記の操作を行います。
Windowsの場合：
タスクバー (パソコンの画面右下)にあるアイコンを左クリックしてください。
→[IC RECORDERの取り外し] (Windows 7、Windows 8) または、[USB大容量記憶装置 - ドライブを安全に取り外します] (Windows XP、Windows Vista) を左クリックしてください。
アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。
お使いのパソコンの設定によっては、タスクバーにアイコンが表示されない場合があります。
Macの場合：
Finderのサイドバーに表示されている「IC RECORDER」の取りはずしアイコンをクリックしてください。
パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。